

～トピックス～

1. 人材が定着する会社とは
2. 税務カレンダー（2019年6月、7月の税務）
3. おすすめ書籍のご紹介

経営者の名言シリーズ

やってみなはれ。やらなわからしまへんで。

鳥井信治郎（サントリー創業者）

※経営者100の言葉より引用

人材が定着する会社とは

◆退職者の埋め合わせの時間やコストも増大

近年、転職者が年間300万人を超え増加傾向が続いています。一方で少子化が進み企業は恒常的な採用難、人手不足という現状があります。2019年2月の転職市場は求人数が4か月ぶりに最高値を更新しました。新卒者も転職者も非正規社員も採用できない人手不足倒産も出ています。そこで、採用が困難なら今いる社員に長く働き続けてもらうことを考えてみましょう。

◆優秀、貴重な若手に辞めてほしくないが

苦勞して採用して仕事を覚えて有能な人材に育った人に退職されるほど「痛い」ことはありません。有能な社員が企業に長くとどまり能力を発揮すること、定着をどのようにするのかを考える必要があります。ある調査では期待していた社員に辞められたことがある管理職は8割に上ると言っています。慰留できなかったケースも7割以上です。退職理由が現在の組織に対する不満が主な原因の場合、会社側は職場の状況にも気を配る必要があります。退職者はなかなか本音を話してくれません。悪い感情が残留者に伝染しないようにしなくてはなりません。会社に対する良くない噂が最近SNS等で流布されるケースもあり、それが採用難の原因にならないとも限りません。新しい職場を探して

いる人にとって「社員が長く勤めている」ことは安心材料になります。苦勞して採用した若手社員、組織の中核として活躍する中堅社員、長年の経験を持つベテラン社員、そのような社員を定着させ、長く活躍してもらうことは人手不足の今、企業にとって重要課題です。

◆同業他社より社員定着率向上を目指す

人材定着率は業種により異なりますので同業種内での差を考える必要があります。引きとめたい社員とは業績のよい社員ばかりでなく、コミュニケーション力やモチベーションの高い人材とすることができます。

20代転職者の調査では退職理由は労働時間や働く環境、経営者、上司、同僚との人間関係、会社の成長が見込めない、の順になっています。「他にやりたいことがある」の言葉の裏側にこれらが複合的に含まれていると言えます。長く働き続けるには、労働条件等の「働きやすさ」と仕事の内容的側面としての「働きがい」の向上で、仕事を通じた成長感や達成感も重要と言えるでしょう。

記事提供元：ゆりかご倶楽部「税務会計トピックス」

2019年6月の税務

6/10

●5月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額・納期の特例を受けている者の住民税の特別徴収額(前年12月～当年5月分)の納付

6/17

●所得税の予定納税額の通知

7/1

●4月決算法人の確定申告<法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・(法人事業所税)・法人住民税>
●1月、4月、7月、10月決算法人の3月ごとの期間短縮に係る確定申告<消費税・地方消費税>

●法人・個人事業者の1月ごとの期間短縮に係る確定申告<消費税・地方消費税>
●10月決算法人の中間申告<法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・法人住民税>(半期分)
●消費税の年税額が400万円超の1月、7月、10月決算法人の3月ごとの中間申告<消費税・地方消費税>
●消費税の年税額が4,800万円超の3月、4月決算法人を除く法人・個人事業者の1月ごとの中間申告(2月決算法人は2ヶ月分)<消費税・地方消費税>

○個人の道府県民税及び市町村民税の納付(第1期分)

2019年7月の税務

7/10

●6月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額の納付(年2回納付の特例適用者は1月から6月までの徴収分を7月10日までに納付)

7/16

●所得税の予定納税額の減額申請

7/31

●所得税の予定納税額の納付(第1期分)
●5月決算法人の確定申告<法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・(法人事業所税)・法人住民税>

●2月、5月、8月、11月決算法人の3月ごとの期間短縮に係る確定申告<消費税・地方消費税>
●法人・個人事業者の1月ごとの期間短縮に係る確定申告<消費税・地方消費税>
●11月決算法人の中間申告<法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・法人住民税>(半期分)
●消費税の年税額が400万円超の2月、8月、11月決算法人の3月ごとの中間申告<消費税・地方消費税>
●消費税の年税額が4,800万円超の4月、5月決算法人を除く法人・個人事業者の1月ごとの中間申告(3月決算法人は2ヶ月分)<消費税・地方消費税>

○固定資産税(都市計画税)の第2期分の納付

おすすめ書籍のご紹介

成功をひそかに妨げる「人生の落とし穴」

やっではいけない7つの「悪い」習慣



ジャンル	スキルアップ・キャリア	自己啓発・マインド
	リーダーシップ・マネジメント	起業・イノベーション
著者	デビッド・M・R・コヴィー	スティーブン・M・マーディクス 野津智子(訳)
出版社	日本実業出版社	
定価	1,728円	出版日 2019年01月20日
評点	総合 4.0	明瞭性 4.0
	革新性 4.0	応用性 4.0

世界的ベストセラー『7つの習慣』の系譜を次ぐ1冊——そういわれると手に取らずにはいられない読者も多いはずだ。著者の一人であるデビッド・M・R・コヴィー氏は、『7つの習慣』の著者、スティーブン・R・コヴィー氏の三男だということだからなおさらだろう。生まれたときから7つの習慣の中で暮らしているという同氏は、いったいどんな考え方をしているのか。

本書を読んだ多くの読者は、自分が罠に落ちていることに気付くことになる。罠から抜け出そうと懸命にもがいている真最中であることも少なくないはずだ。罠はそれほどまでに魅力的で、いとも簡単に人を陥れる。そして・・・

«こちらの要約の続きは、
flier (フライヤー) でご確認ください»

書籍要約サービス「フライヤー」の
詳細・お申込みはこちら



〇〇 〇〇 税理士事務所

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-26-3 エッサム本社ビル

TEL : 03-0000-0000 FAX : 03-5256-7804 E-Mail : yurikago@essam.co.jp

事務所HP : <https://www.kaikei-home.com/yurikago/>